



2025年11月14日

株式会社あいち銀行

アジア圏へ販路開拓をめざせ!! ～愛知大学留学生による輸出促進ティスティング～ を開催しました

株式会社あいち銀行(代表取締役頭取 鈴木 武裕)は、学校法人愛知大学(理事長・学長 広瀬 裕樹)、農林水産省東海農政局(局長 秋葉 一彦)とともに、海外販路開拓に向けたテストマーケティング企画として「愛知大学留学生による輸出促進ティスティング」を開催しましたので下記のとおりお知らせいたします。

本イベントでは、愛知大学の留学生が、輸出や海外販路拡大を目指すお取引先企業の商品を試食し、中国や東南アジア地域等、海外での販売に向けた課題や改善点等について、お取引先企業と意見交換を行いました。

また、当行と連携協定を締結している東海農政局による、食品輸出やインバウンド消費促進に向けた講演も行われました。

当行はこれからも、地域のお客さまの海外展開を積極的に支援してまいります。

記

1. 開催概要

日 時	2025年11月13日(木) 12:30～15:40
会 場	愛知大学 名古屋キャンパス
内 容	➤ 東海農政局によるセミナー ➤ 留学生による試食および企業関係者とのディスカッション
参加企業	あいち銀行のお取引先企業3社
参加学生数	17名(中国、台湾、ベトナム、韓国、フィリピン出身の愛知大学への留学生)
共 催	あいち銀行、愛知大学国際ビジネスセンター、東海農政局

2. 愛知大学留学生からの主なコメント

- ・中国に進出する時には価格競争が激しいことと、類似品がすぐに出ることに気を付けたほうがよい。
- ・中国では生クリームのカッキーがほとんどなので、見栄えも良いこのカッキーは売れると思う。
- ・日本の甘みは“微糖”が主流になっているが、もっと甘みを全面に出した方が人気が出ると思う。
- ・包装や色に工夫を加え、SNSを意識したデコレーションにしたほうがよい。

3. 参加企業の感想

- ・加えた方が良い食材の提案をしてもらい、新メニューの気づきになった。
- ・お店のターゲット層が本日参加した学生と同世代であり、留学生の意見は今後の商品開発や販売の参考になった。
- ・今後、販路拡大していく中で、どのようなプロモーションをかけていけばいいのか大変参考になった。
- ・中国でも北部と南部で好みの味の違いがはっきり出て、マーケティングの面で役立った。

4. 参加企業概要・当日の様子（順不同）

企 業 名	株式会社味画
商 品	ジェラート
本 社	愛知県名古屋市東区三の丸4丁目5番9号
事業内容	加工食品向け食品添加物、食品素材などの販売
U R L	https://mi-kaku.co.jp/



企 業 名	株式会社ツーリストラボ
商 品	焼き芋、焼き芋を使ったスイーツ
本 社	愛知県名古屋市中区栄5丁目15番17号
事業内容	旅行業、焼き芋専門店 (oimo café imomi)
U R L	https://tourist-labo.jp/



企 業 名	ヤマサちくわ株式会社
商 品	水産練製品
本 社	愛知県豊橋市下地町橋口30番地の1
事業内容	水産練製品の製造・販売、飲食事業
U R L	https://company.yamasachikuwa.com/



以 上